

議事概要記録

開催日時	平成 27 年 6 月 20 日 (土) 11:00 ~ 13:00	開催場所	かんぼの宿 紀伊田辺 会議室 3
会議種別	平成 27 年度 第 2 回常務会理事会	議長	
		書記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁		
欠席者 〈敬称略〉		オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>検査説明・相談が出来る検査技師育成講座について</p> <p>総会の問題点検証について</p> <p>個人名の領収書に対する対応について</p> <p>学術部より</p> <p>災害対策委員会について</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>検査説明・相談が出来る検査技師育成講座について</p> <p>わかやま国体の関係で、今年度は 12 月 5-6 開催で調整中と報告があった。松尾先生の都合によりプログラム内容が前後するとのことであった。また、「検査説明の実際」(臨床検査医から求める臨床検査技師が行う検査説明・相談) 枠を予定している佐守先生の都合がつかないため、他の医師で調整中とのことであった。</p> <p>今年度は、竹中副会長を中心に木下学術部長と田中事務局長で実務・運営を行うことを確認し、募集は 30 人の予定で検体採取講習会と含めて広報することを確認した。</p> <p>総会の問題点検証について</p> <p>今回の総会運営について、大まかな流れは良いとしたが若干の問題点について検証した。次回より資格審査委員は総会開催前から立ち上げ、委員についても資格審査委員長が若干名を指名することを確認した。よって総会役員として立候補を求めるのは議長・議事運営委員ならびに書記に留めることを確認した。</p> <p>各号議案については、議事運営委員による挙手表決数をカウントすることで行うことを確認したが、表決の取り方、議決数の確認、報告、書記から議長への表決数記載用紙伝達など、詳細な運用については見直すこととした。</p> <p>以上のことを踏まえ、総会運営規程を作成することを確認した。</p> <p>個人名の領収書に対する対応について</p> <p>個人名宛で書かれた領収書が多かったと会計監査時に監査から指摘された問題について、支払証明書を用いて処理することを経理部長より提案があった。本来、支払証明書とは、領収書が発生しない出金処理(自販機からの購入や祝儀・香典などの慶弔費など)があった場合に用いられるが、学術部用・総務用と個別に運用できるように作成し、また、学術部用は上限を 5,000 円にすることを確認した。</p>		

学術部より

日臨技生涯教育推進研修会の報告書について、一部不備を日臨技より指摘があり、修正報告したとのことであった。

第18回学術部一泊合同研修会について、日臨技生涯教育推進研修会の履修項目として申請すると報告があった。

和歌山県糖尿病療養指導セミナーについて、日臨技生涯教育への登録依頼があったとのことであった。

和歌山県医学検査学会ガイドラインの講師料について、会員旅費規定に関する運用内規より引用し、会員が講師にかかる行動費として、30分以内が3,000円、30分を超えた場合は5,000円であることを確認し、和歌山県医学検査学会ガイドラインへ反映させることで確認をとった。また、会員旅費規定に関する運用内規について、発表時間の明確な記載へ変更し、次回理事会において承認を得ることとした。

学術部使用機材(PCとプロジェクタ)について、PC3台のうち1台はWindows XPでありサポートが終了していること、新JAMTISへの変更に伴い、旧OSPCでは受付にてセキュリティの面で問題があると学術部長より申し出があった。また、全てのPCにおいて、エコー動画がスムーズに再生出来ないなどの問題も生じているとのことであった。さらに、プロジェクタ2台について、旧式で光量が弱く、閲覧しにくいといった問題が生じているとのことであった。

まずは、新JAMTISで問題なく受付が出来るPCの機種選定が急務であると判断し、予算等の兼ね合いから、大石経理部長と田中事務局長で調整することで確認した。

総会議案書の収支報告にて、既に破棄された旧式のPCが財産目録に計上されており、現状を調査することとした。

55回近畿支部学会実行委員会より座長候補者推薦依頼があり、調整すると学術部長より報告があった。

災害セミナーについて

総会後に災害委員会を開催したと報告があった。災害フォーラムについて、12月12日に済生会和歌山病院7階講堂にて開催予定で、講師については神戸常盤大学教授の坂本秀生氏、臨薬卸と行政等から1名、災害時支援対策マニュアル作成に尽力された新潟県技師会の坂西清副会長の4名を招聘する予定であると報告があった。災害時支援対策マニュアルについては、和歌山県でも作成することが急務であるため、坂西副会長の意見と報告を参考にしたいとのことであった。

進捗としては、和歌山県各施設において使用試薬と機器(POCT含)の調査を行う準備段階に入ったと報告があった。

和歌山県下各施設長のメーリングリスト作成が完了したと報告があった。

記録作成	平成27年6月21日	氏名	田中 規仁	提出	平成27年6月21日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可